

入院診療計画書

患者氏名 様

病名：腰部脊柱管狭窄症

治療：硬膜外腔癒着剥離術

経過	入院（手術前日まで）	手術日	手術翌日	手術翌々日～退院	退院後の治療計画
日時	(/)	(/)	(/)	(/ ~ /)	
達成目標	*手術について理解ができる *身体的準備が出来ている	*安静が守られている *安全な体位保持ができる *合併症の症状・所見がない	*穿刺部位に問題がない *頭痛・吐き気などの症状がない	→	
治療 処置 薬剤 リハビリ	*入院前まで服用されていたお薬を看護師に渡して下さい 	*手術30分前に抗生素点滴を始めます *手術後約4時間後に抗生素点滴があります	*医師確認後、中止中の服用されていたお薬を再開します *看護師で穿刺部位の確認をします *毎日リハビリを行います	→	 *退院時、次の受診日・入院日や手術の日程について説明します
検査		*手術終了後そのままCT撮影があります			
活動 安静度	*安静の制限はありません	*ベッドで手術室に行きます *手術・CT後部屋に戻ります *帰室後2時間はベッド上安静です	*安静の制限はありません	*日常生活動作が問題なければ退院可能です	
食事	*食事・水分の制限はありません	*朝食・昼食は食べれません *手術後、問題なければ水分摂取可能です 夕食より再開します	*食事・水分の制限はありません		退院後の療養上の留意点
清潔		*手術着に着替えます（上は全部脱ぎます） *安静時間終了後、着替えは可能です *手術後は入浴できません	*入浴できます		*お薬があれば、続けて内服して下さい *退院時、次の受診日について説明します
排泄	*トイレで排泄できます	*安静解除後トイレで排泄できます			
教育 指導 説明	*手術の説明をします（外来時済みの場合有り） 説明後、同意書をお渡します。署名をして看護師にお渡し下さい *手術同意書の回収を行います	*頭痛や吐き気・気分不良等があったらすぐにナースコールをして下さい *医師から検査結果の説明と今後の治療方針の説明があります	→		
服薬指導	*持参されたお薬の作用、副作用について薬剤師が説明を行います。新しく薬が出た場合は、内服方法や作用・副作用について説明します				
栄養指導	栄養管理の必要性：なし・あり				
観察	*動きの状態等の観察をします	*バイタルサインのチェックをします *頭痛や吐き気等・足のしびれなどの確認をします		→	
在宅復帰支援計画	() 病状の安定を図り、安心して生活する為の支援を行います。 () 日常生活動作が維持できるような環境設定の提案や介助方法等を家族・療養にかかるスタッフへ指導します。 ()				

主治医：

師長：

担当看護師：

印

令和 年 月 日

本人または家族の承諾サイン：

【在宅復帰支援担当者】津田 香月 【担当MSW】4階北(香月) 5階北(香月) 3階南(栗津) 4階南(増永) 5階南(中村)

【担当管理栄養士】4階北(吉村) 5階北(松本) 3階南(吉村) 4階南(高宮) 5階南(高宮)

熊本セントラル病院

書式番号:2000-2020

*注:入院期間は、現時点で予測されるものである・病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくに従って変わりうるものである